



学校だより

平成26年度 第9号

発行日 平成27年1月19日

練馬区立大泉第二中学校

校長 眞々田 透

まず動く

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、良い年を迎えられたことと存じます。昨年中は様々な教育活動で多くの保護者や地域の方々にお力添えいただき、ありがとうございました。今年も保護者の皆様や地域の皆様にご支援いただき、教育活動の充実・発展に努めて参ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

さて新しい年も半月たちましたが、生徒達は新年にあたり、どのようなことを考えたのでしょうか。本年最初の朝礼でこのことを取り上げて考えてみました。

「1年の計は元旦にあり」と昔からよく言われていますが、「計」とは目標や計画のことです。1人1人が「今年はこのことをがんばろう」「こんなことをできるようにする」と新年の決意をしたことと思います。それが自分の今年の目標であるとともに計画につながってきます。ぜひその決意を実現するために努力しながら一步一步前に進んでほしいと思っています。

京都大学の山中伸弥教授は ips 細胞という皮膚などの細胞から、様々な細胞に成り得る能力を持った体細胞を作り出すことに成功し、ノーベル生理学・医学賞を受賞して2年経ちました。ご存じのように、その後も ips 細胞を使った新たな治療法の研究は、実用化に向けて着実に進んでいます。去年の9月に目の難病を煩った患者に世界初の ips 細胞を使った移植手術が行われました。山中教授は ips 細胞を発見するまでには、何度も研究に失敗し、研究を諦めかけたこともあったそうです。あるとき、山中教授は、恩師から科学者として成功するためには、という教えを受けました。それは長期的な展望（見通し＝ゴールは何なのか）としっかりした目標（そのためには具体的に何をするのか）をもって、懸命に努力を重ねればその一念は必ず叶うということです。

世界初の ips 細胞を使った移植手術が行われたときに、山中教授は「スタートしたにすぎません。これから多くの克服すべき問題が山積みです。できるだけ早く前に進みたいですが、同時に慎重に事を進める必要があります。そういう非常に大切な時期でもあります」と語っています。また、研究をしている学生に対しても日頃から「ごちゃごちゃ考えんと、実験やってみい」と言うそうです。迷って、立ち止まっているなら、実験してみる。動いてみるとまた何か違う現象が出てきて、思いがけないヒントになることがある。次第に展望が見えてくることがあるということです。私は山中教授の発言から山中教授は恩師の教えをベースにして、たゆまぬ努力を積み重ねていらっしゃるのだと強く感じました。今年はパーキンソン病の治療の研究が大きく動き出すと言われています。難病の解明や新薬の開発などへの応用にますます期待が高まり日本にとっては明るいさざしといえます。

しかし、今、日本の社会は様々な課題が山積んでいます。私達は先行きが不透明で、ややもすると自分を見失いかねない怖さを感じます。でもこの変化のきびしい時代を生き抜いていかなければなりません。そのためにも、一人一人がそれぞれの目標に向かって、まず一步を踏み出して、やってみる。その努力を一日一日積み重ねていくことが、自分を高め成長させ、「自分で生き抜いていく力を身に付けることになります」。このことを私は年頭にあたり生徒たちに意識して欲しいと思います。

学校はこれからの三ヶ月はそれぞれの学年の締めくくる大事な時期でもあります。そして次の年度に向けての心構えをつくる期間です。

1年生は中学生になって1年が過ぎようとしています。4月には新入生が入学してきます。新入生を支えられる力をこの期間に養ってほしい。

2年生は中心的存在として活躍してくれています。最上級生になる前の締めくくりをしっかりとってほしい。

3年生にとっては、卒業式までの授業日数が僅か52日という短い期間です。まず、3年生のみなさん、十分健康に気をつけながら目標達成に向かってベストを尽くして下さい。みなさんの進路の希望が実現できるように強く願っています。残り少ない中学校生活、今は苦しいけれどもお互いに励まし合って最善を尽くしましょう。そして、爽やかな笑顔で本校を巣立ってほしいと願っています。全学年とも、これからの三ヶ月「一日一日を大切に動きましょう」何事にも一生懸命取り組み、感動を共有しましょう。みなさん1人1人にとって充実した三ヶ月になることを期待しています。

東京都「インフルエンザ流行警報」発令

ほけんだより 11月号でお知らせの通り、今年は早い時期からインフルエンザが流行し、年末年始は大変心配をしました。今後も流行が拡大することも予想し、感染しないように心がけましょう。万が一、発熱や嘔吐、下痢等の症状がある場合は、無理に登校せず、早めに医者へ行き受診してください。感染した場合は、欠席ではなく、出席停止となり、発症した後5日、かつ、解熱した後2日経過するまで登校できません。また、回復後は、登校届けを提出し、登校を開始してください。

第67回練馬区民体育大会 駅伝競技大会結果 (平成26年12月14日)

中学男子の部 優勝<安藤、板垣、松田、山田、小代>

中学女子の部 優勝<葛目、彦坂、川本(百)、川本(寿)、長谷川>

最高記録賞

男子の部 村越愉一 (記録 7分46秒)

女子の部 葛目陽香 (記録 9分01秒)

第23回“明日のTOKYO”作文コンクール (主催 東京都人材支援事業団)

テーマ「自らを見つめ、個性を伸ばし、未来を拓く」

受賞者 佳作 2年 有馬 早紀 「将来の夢」

先輩頑張っ！ 3年生への応援メッセージ

先週から、3年生の廊下や昇降口、体育館の窓には、受験に向かって頑張っている先輩を励ます「応援メッセージ」が飾られています。1、2年生の中央委員会メンバーにより作成されました。教室では、クラスごとに作成した応援色紙も手渡されました。最後まで全力で挑戦してほしいと、後輩からの温かい気持ちが伝わってきました。全校あげて応援していきたいと思います。

<応援メッセージ>



「夢に向かって未来を切り拓け!」 「Get your dream!!!」 「You can do it!」 「夢に向かって全力でこれからも頑張ってください!」

練馬区小中学校連合書きぞめ展のご案内

○会 期 平成27年1月24日(土)・1月25日(日)

○公開時間 10時~18時 (入場は17時30分まで)

○会 場 練馬区立美術館 第1・2展示室